

YAMAHA FF-21

手が届く夢がここにある。マイボートが現実のものに!

200万円代で
マイボートのオーナーに!!



艇名:FF-21 F50/ F70
 全長:6.45m、全幅:2.27m、全深さ:1.21m、艇体質量:801kg、完成質量:915kg/921kg
 搭載エンジン:F50FETX/F70AETX、搭載馬力:36.8kW(50ps)、51.5kW(70ps)
 燃料タンク容量:別体式燃料タンク24リットル、定員:5名、航行区域:限定沿海
 メーカー希望小売価格 艇種名:FF-21 F50/¥2,298,303 FF-21 F70/¥2,445,303



ハルは人気のフィッシングボートYFシリーズのハルを採用。波きりも良く走行性能は上位クラス。フィッシングの時も凄く安定していて釣りがしやすい。



エンジンは50psと70psがチョイスできる。

視認性に優れたスタンディングポジション。オーニングはオプション。

釣りに最適なウォークアラウンド。

スターンデッキよりも一段高いデッキレイアウトになっている。



ジギングなどルアーゲームでのアクションをサポート可能。



余裕があるモーターウェルスペース。



広々としたデッキ。釣りに最適。



2ウェイドライビングポジションが可能。



コックピットはシンプル且つ機能的。



ステアリングとスロットルレバーのポジションはベストマッチ。



スターンデッキは収納力も十分完備。



スターン収納はバッテリー、燃料タンク、物入れを独立。



大型ストレージボックスを完備!!



125Lの大型イキスを採用。



オプションで手動マリントイレが設置可能。



大きくて余裕あるスカッパー。可能。



近場での釣りは魚種も豊富。キスにベラにコチ。今回は日間賀島周りで釣りを楽しんでみました。時間があればゆっくりと釣りを楽しみたかったですね!安藤さんは本当に釣りがお上手で、どのポジションに移動しても一番始めに魚を釣り上げてします。流石です!



佐久島に上陸して昼食を取ることにしました。佐久島でのお勧めは「ゆきや」さん。いつでも食事をする事ができ、島の美味しいものを食べさせてくれる。今回は大アサリ丼を頂きました。これは、かなりのお勧め!絶品ですよ!



フィッシングボートにふさわしいシャープな印象を与えるスタイリングと、操船時の良好な視界を両立させるためにヤマハが出した答えが「2ウェイ・ドライビングポジション」。直接海面を見渡すことができるスタンディングポジションと長時間の移動に対応するシットイングポジション。いずれにおいても、最適なドライバーズビューを確保し、さまざまなシーンに対応することができる。

石川農機さんから出航して数十分で日間賀島北のポイントに到着。21フィートのハルと4ストローク70psのエンジンとのバランスはちょうど良く、乗っていてもなんのストレスも無く快適にポイントまでのクルージングを楽しむことができた。船内で大人二人が竿を出し仕掛けを作ったが、リアデッキは見た目以上に広く、余裕で作業をすることができた。早速、釣りを始めることにした。潮の流れから片舷から二人並んで竿を出したが、ボートは傾く事無く凄く安定していて、狭いとか釣り難いとかは全く感じなかった。21フィートと聞くとちょっと小さくて不安定かなと思いがちだが、ハルは人気フィッシングボートYF21のハルを採用していると同行して頂いたINC石川農機の安藤

さんから教えて頂き、だからポイントまで快適に走り、安定感があることに納得してしまった。二人で二時間ほどポイントをいろいろ移動しながらキス釣りを楽しんだ。次は少し沖に出てタコ釣りをすることにした。このくらいまでくると、取材と言うよりは休日のフィッシング的な感覚になってしまい、真剣にタコ釣りモードに入ってしまった。ポイントは佐久島沖合。タコ釣りの船団ができていたので、その中に紛れ込んだ。やはりこのクラスだと実に紛れ込むのに支障がなく、5分も竿を出していれば随分前からここで釣りをしていたかのごとく、竿を出しても何の気兼ねもなく釣りを楽しむことができる。安藤さんは本当に釣りが上手くて、キスのときもそうだったが、まず最初に釣りあげ



本日の釣果!見事五目釣りを達成しました!



取材協力：i First 石川農機 & INCマリン(KK)
愛知県西尾市一色町坂田新田沖向104番地
TEL:0563-72-3080/FAX:0563-73-5701
http://i-first.info/boat_view.php

る。タコこそはと、密かに気合いを入れていたが、またしても、サクッと釣り上げられてしまった。小一時間ほどタコ釣りを楽しんで、お腹がすいたので佐久島に上陸して、美味しい海の幸を頂くことにした。堤防にFF-21を係留。二人いれば簡単に係留ができるので、扱いやすいボートは遊びの幅が確実に広がる。佐久島名物大あさり丼を頂き、のどかな佐久島を散歩しながら、日常生活からの脱出に成功。この時点で取材だと言う事は全く頭にはない。あまりの心地よさに時間を忘れてしまいそうになる。堤防に係留してあるFF-21を見ながら『ボートっていいな』としみじみと感じてしまう。ロープを解きINC石川農機に戻る事にした。こんな体験してみたいと思いませんか!FF-21はこんな夢のような時間を作ってくれるボートなんですよ!一生懸命動いて、少し自分の時間にお金をかけて人生を楽しんでみるのも、いいかもしれませんね!



INCマリン 石川農機 安藤道徳さん
FF-21は入門艇として最適なボートです。フィッシングからクルージングまで三河湾、伊勢湾等近場で遊ぶにはこれを、一番にお勧めします。YFシリーズのハルを受け継ぎ、かなり高性能な入門ボートです。今年の夏はこれで決まりですね!

昨年デビューしてボートライフの入門艇として着実に人気を得てきたヤマハFF-21。今回は西尾市にあるINC石川農機さんにお邪魔をしてFF-21の魅力について実体験をもとにご紹介したいと思います。なんとって一番の魅力はリーズナブルな価格。取材させて頂いたFF-21はヤマハ4ストローク70psを搭載して、なんと205万円(試乗艇特別価格)。PWCの上位機種とほとんど変わらないのだ。サイズは21フィートで非常に取り扱いがしやすく、数年前にボート免許を取って、ペーパードライバーだった方でも、短時間お店の方に説明を受ければ、簡単に運転することができる。早速、実際に乗ってその魅力に触れてみることにした。まずは、フィッシング。INC